
追悼

桂木公平さんの遺産

東北支部長 阿部 修

本学会終身会員の桂木公平氏が 2012 年 7 月 15 日に他界されました。享年 87 歳でした。様々な団体の要職にある方なのに、私たちは親しみを込めて桂木さんと呼ばせていただきました。桂木さんは、自ら興された日本地下水開発株式会社の会長職にあった今年 3 月 1 日、同社の 50 周年記念祝賀会が開催されるというので、入院先の病院から車椅子で駆けつけ、社員を激励されたとのこと。まさに桂木さんらしいエピソードです。

桂木さんは、東北支部設立の発起人の一人として、また、産業界の代表として多数の賛助会員を勧誘していただきました。これにより財政面での基盤が築かれ、1986 年 2 月 22 日、山形市において設立総会が開催され、東北支部はようやくその産声を上げることができました。当時、私は裏方でしたが、後に初代支部長となられる渡辺善八先生と一緒に各界を回られた中村勉さんからは、桂木さんが奔走されなかったら東北支部は発足しなかっただろうと伺っています。

日本雪氷学会にはそれ以前は北海道支部しか存在しなかったわけですが、桂木さんは産学官の連携の必要性を認識され、東北支部の設立に尽力されました。その後、北信越支部、関東以西支部と続いて設立されたことは、桂木さんがいかに時代の先を読む眼力をお持ちであったかを示す一例だと思います。

本学会の全国大会が 2002 年に山形市で開催されたときには、実行委員長として牽引役を果たされ、成功に導かれました。このように、桂木さんは、いつも東北支部のことを気にかけて下さり、



東北支部の 25 周年記念誌にも、「東北支部に期待すること」と題して寄稿されています。その中で、私たちは自然に対して畏敬の念を持ちつつ、自然現象を的確に捉え、災害を防ぎつつ、生活を豊かにする自然の恵みを利用すること、すなわち、「自然との共生」を計っていかなければなりません、と言われていました。

この言葉もまさに現在、我々を取り巻く状況を的確に捉え、何をなすべきかを我々に問いかけているように思えてなりません。桂木さんとお会いすると誰でも勇気が湧いてくるような気がするものです。このような偉大な先人を失い、まさに痛恨の極みではありますが、残された我々は、設立当時の精神を風化させることなく、東北地方の未来のために着実に役割を果たして行く所存であります。これまでのご厚情に深く感謝し、心からご冥福をお祈り申し上げます。(遺影は 2010 年 4 月 12 日)

(2012 年 10 月 9 日受付)